

授業参観・部活動懇談へのご参加ありがとうございました

昨日の授業参観・部活動懇談には、保護者の方々に多数のご出席をいただき、ありがとうございました。生徒は中学校生活に慣れ、仲間との交流も深まっています。また、授業や部活動にも意欲的な姿が見られ、うれしく思います。これからもご支援・ご協力をよろしくお願いします。



各クラスの学級目標

	学級目標	込められた想い
1組	Colarch(カラーチ)	一人の個性〔color〕を生かして、得意なことで苦手なことを補い合えるクラス。一人も欠けてはつくれる！1年1組の「Arch」をつくろう！
2組	WBC ～分かりあえるベストなクラス～	WBCの侍 JAPAN のように一致団結し、お互いを認めあっていけるクラス。一番を目指し、ベストを尽くせるクラスにしたい。
3組	輝く星座	夜空に輝く星座は、1つの星でも欠けると成り立たないように、だれも欠けることなく、1人1人が輝けるようなクラスにしたい。
4組	奏	みんなで仲良く1つのことをできるようなクラスにしたい。このメンバーで最高な1年を過ごせるようなクラスにしたい。

勉強に向かう姿勢を確認しよう

4月、道徳の授業で「自分で決めるって」という内容を学習しました。自分のことは自分で決めたい。自分で決断して実行してこそ納得がいく。受け身ではなく、自分から積極的に行動することを「主体性（しゅたいせい）」と言います。中学生の時期は、心身ともに大人へと成長していく時期です。大人になるということは、自分の行動を自分の意志で決定する力を身に付けることです。「自立」という言葉で、表現されることもあります。

さて、それぞれのテスト勉強の様子を振り返ってみてください。テスト週間に入る前に、学習計画表を配付し作成しました。そこに記入されている内容は、紛れもなく自分の意志で決定した学習計画です。誰かに決められたものではありません。その計画に従い、学習を進めることはできていますか？

計画はあくまでも計画です。その日の出来事や体調などによって、内容を変更することは構わないと思います。しかしその変更が、「めんどくさい」「やる気が出ない」などといった、ネガティブな理由によるものはいけません。自分の意志で、主体性をもって決定した学習計画は、自分でしっかりと実行する必要があります。「主体性」の裏には、「責任」が伴うのです。

「主体性」と「責任感」は、中学生の皆さんにぜひ身に付けてほしい力です。テスト勉強を、中学生らしい行動について考えるきっかけにしてもらいたいと思います。

